

産業の潜在力 力を蓄え、 発揮の機会を狙う



▲「先進技術講座」の熱心な参加者

エリートの輩出 人才育成で潜在能力を引き出す

人材育成の強化、産業と繋がる

2007~2008年度の科学工業園区人才育成補助計画で認可された経費補助額は計1.3億円で、全国36の高等教育機関、51の課程が補助を獲得しました。うち、台湾南部の高等教育機関は計13校から、バイオテクノロジー、通信、パソコン及び周辺、集積回路、精密機械、光電子など六大産業に関連する20の課程に4,545万円の経費が認められていま

す。これは、大学や大学院の学生が在学期間中から産業界に触れることで、産業界と學術界のギャップをなくそうというもので、2008年度の課程は2008年9月より続々開講し、現在に至っています。

ハイテク産業環境安全講義

業界初、園区の環境保護・工業安全担当者を集めてキャンパスで授業を行う新しい産学協同モデルを創出しました。南科管理局は成功大学環境工学部と協力して「ハイテク産業と環境保護」課程を開設し、環境工学部(院)学生の工業安全領域の実務能力の向上を図りました。2008年には特別に「ハイテク産業と安全衛生」課程を増設し、園区の環境安全管理制度、生化製薬産業、光電子産業、集積回路の環境安全実務などの四大テーマについて、入居企業の担当者が直々に現場での経験を講義するなど、「ラストマイル」(last mile)の教育理念を具現しました。

専門技術人才育成計画

園区就業者の専門技術知識と競争力の向上を図るため、南科管理局は2000年以来、半導体、光電子、



▲2008年度専門技術人才育成計画講義開学式

精密機械、通信、バイオテクノロジー、テクノロジー経営管理の六大領域について園区就業者に求められる専門技術課程を開催しています。2008年には4月16日から12月12日までの間にのべ63回、時間数にして計688時間の講義を行いました。経費は南科管理局が3/4を負担、支給額は合計で1,599万円に上ります。また、先端技術専門講座を2回、模範企業トップ講座も4回開催し、受講者数はのべ3,207名に達しました。

模範企業トップ講座

南科管理局は2008年に4回の「模範企業トップとの対談講座」を開催しました。第一回は台積電(TSMC)の張忠謀氏による「中心的競争力の重点強化」をテーマとした講演で、張董事長からは、知識をどのように利益に転換させるかが重要であること、そして、「To innovate is to make changes」(革新とは改革である)との考えが示されました。第2回は統一超商(セブンイレブン)の徐重仁總經理による「戦略構築と改革」、第3回は台湾奥美グループ白崇亮董事長の「360度の視野からブランドを語る」と題した講演でした。そして、第4回は元・台湾ヒューレットパーカード董事長で、現在は全球一動(股)会社及び首席電子商務会社の董事長である何薇玲が「産業競争と世界戦略」とい



▲統一超商總經理の徐重仁(左)は座談会後、局長陳俊偉(右)と写真撮影



▲台湾奥美グループ董事長の白崇亮(左)と副局長吳盟分(右)が座談会後、写真撮影

うテーマで講演を行っています。4回の講座には計843人が参加しました。トップクラスの経営者の経験を通じて、共に園区で働く人たちが視野を広げ、最高の経営力をつかむ一助となることが期待されています。

高雄園区電信技術人才育成計画

高雄園区の電信産業を発展させ、園区就業者の専門技術知識、技能を向上させるため、2008年4月7日から9月30日までの期間に89.4万円を投じて計7回、時間数にして合計42時間の電信技術特別課程が開催され、のべ183人が受講しました。

2008軟性電子・RFID産業趨勢シンポジウム

2008年10月31日、南部科学園区産学協会等が主催する「2008軟性電子・RFID産業趨勢シンポジウム」が、南科管理局等の協力の下で

盛大に開催されました。今回のシンポジウムは、軟性電子の研究開発機構—日本千葉大学と工研院電子・光電子研究所を講演者として招待し、RFID産業の川上、川下メーカーも参加して行われたもので、これをきっかけに台湾の軟性電子とRFIDの発展の方向が明確になり、産・官・学の交流が促進され、台湾電子産業発展の新時代が切り開かれていくことが期待されています。

南科バイオテックテクノロジー企業懇談会

園区内外のバイオ企業の知識・技術力を結集し、バイオ産業の産学協同プラットフォームを築くため、南科管理局は2008年4月と9月にそれぞれ一回、南科バイオ企業懇談会を開催しました。産・官・学のトップや管理職クラスの出席者が産業発展の動向や経営管理の経験を共有し、園区内外の相互交流を図るという目的を達成しました。



▲台積電(TSMC)董事長張忠謀が「中心的競争力の重点強化」について講演



▲全球一動(股)社及び首席電子商務社の董事長、何薇玲が「産業競争と世界的戦略」について講演



▲バイオテックテクノロジー企業懇談会